

科目分類	助産学基礎科目	開講時期	1年 前期
授業科目	周産期医学Ⅱ（ウィメンズヘルス）		
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位 1.5時間
		授業形態	講義
担当教員	野々山 未希子		
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要

到達目標	<p>1) 女性のライフサイクル各期における健康課題について理解する。</p> <p>2) 女性の健康に影響を与える要因について理解する。</p> <p>3) 女性の心理および社会的側面に影響を与える要因について理解する。</p> <p>4) 女性の生涯にわたる支援の在り方について考えることができる。</p>
授業概要	<p>女性の生涯にわたる支援者としての助産師の役割を考えるために、ウィメンズヘルスの視点から女性のライフサイクル各期における健康課題、各期の女性に特有な疾患、女性と子どもの健康に影響を与える要因について学修する。</p>
授業内容	<p>第1回 女性の身体的特徴、生物学的性差</p> <p>第2回 女性のライフサイクルと各期の健康課題（思春期・成熟期）</p> <p>第3回 女性のライフサイクルと各期の健康課題（二次性徴・月経関連疾患）</p> <p>第4回 女性のライフサイクルと各期の健康課題（妊娠の意思決定）</p> <p>第5回 女性のライフサイクルと各期の健康課題（更年期）</p> <p>第6回 女性生殖器系疾患</p> <p>第7回 性感染症と母子感染 性感染症とは、代表的な疾患と母子感染</p> <p>第8回 性感染症と母子感染 代表的な疾患と母子感染、性感染症の予防方法</p>
教科書・参考書等	<p>教科書： 助産学講座2 基礎助産学（2） 母子の基礎科学 第6版 医学書院</p> <p>参考書： 必要時提示</p>
成績評価基準・方法	レポート100%
履修要件	なし
留意事項・その他	<p>看護師国家試験の範囲である解剖・生理、病態・疾病、各看護学領域の内容を復習しておくこと。</p> <p>本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。</p>